

高山市 I T 人材育成事業委託プロポーザル審査要領

(目的)

第1 この要領は、「高山市 I T 人材育成事業委託」における契約候補者を選定するためのプロポーザル審査方法について定めることを目的とする。

(審査の方法)

第2 契約候補者選定の審査方法は以下のとおりとする。

(1) 審査委員

審査委員は、教育関係者1名、商工団体関係者1名、有識者1名、副市長、総務部長及び商工労働部長をもって充てる。

(2) 企画案、事業実施能力に関する審査

審査項目及び配点は、別紙1「プロポーザル審査項目及び評価内容」のとおりとし、審査はプレゼンテーションを実施し、別紙2の「プロポーザル審査表」により評価を行う。

(3) プロポーザル審査の対象

市が別に定める提案書等の関係書類及びプロポーザル提案者からの説明等（プレゼンテーション）とする。

(4) 契約候補者の選定方法

各審査委員の審査における採点の合計を各提案の点数とし、各審査委員の評価点の合計値を総評価点とし、総評価点が一番高い者を契約候補者とする。

(5) 複数の同得点者が生じた場合

複数の同得点者が生じた場合は、以下の順で選定する。

①企画提案の点数が高い者を選定する。

②企画提案の点数が同じ場合は、事業者の点数が高い者を選定する。

③すべての得点と同じ場合は、それらの者のみを対象として再審査を行い、順位を決定する。再審査においても複数の同得点者が生じた場合は、各審査委員による協議のもと委員長が選定する。

(6) 最低基準

各審査委員の採点の合計が、評価基準点の合計値の6割以上であることを最低基準点とし、最低基準点を満たさない提案者は選定の対象としない。

(7) 応募者が1者の場合又ははない場合の取扱い

最低基準点を満たす場合は、当該提案者を契約候補者とする。なお、提案者がいない場合は、選定の対象者なしとする。

(その他)

第3 この要領に定めるもののほか、審査会の運営に関し必要な事項は、その都度協議の上、決定する。

附 則

この要領は、決裁の日から施行する。

高山市 I T 人材育成事業委託
プロポーザル審査項目及び評価内容

審査項目	評価項目		評価基準	配点	
事業者	業務体制	業務の実施体制が充実しており、市との連絡体制等、人員配置が具体的に示されているか。	I	10点	
	業務実績	本事業の核となるスキルセット及びリスキリング教育、伴走型 I T 人材育成に関する実績の有無。		10点	
企画提案	提案内容的確性	提案内容が仕様書を的確に踏まえ、業務目的、条件、内容を理解した提案書となっているか。	I	20点	
	業務工程	業務スケジュールが明確なものであり、実現可能な提案となっているか。	I	10点	
	受講者の選考	受講者の選考基準が適切かつ明確となっているか。	I	10点	
	研修の実施		研究内容は開発エンジニアやプログラマーに必要な基礎研修、専門研修を示した提案となっているか。	I	20点
			ウェブサイトの構築やチームビルディング等の実践的な研修を示した提案となっているか。		20点
			事業者による一方的な教育ではなく、受講生に寄り添ったハンズオン型の提案となっているか。		20点
			定期的に習熟度の確認や個別相談への対応等、スキル定着につながる提案になっているか。		20点
			受講生が高校生活と I T 人材育成研修の両立（離脱防止）ができる提案となっているか。		20点
	キックオフセミナーの実施	高校生が I T 人材を目指す機運を醸成、保護者等が I T 人材の重要性の理解を深めるため、工夫がされた提案となっているか。	I	10点	
	研修報告会の実施	高校生や保護者、市内企業の経営者等が I T 人材の重要性について理解を深めるとともに、市内企業の D X の促進に寄与する、工夫された報告会の提案となっているか。	I	10点	
独自提案	独自の工夫や特徴が盛り込まれ、本事業の効果をより発揮できる提案となっているか。	I	10点		
見積金額	見積金額	(最低見積金額 / 見積金額) × 配点 (小数点以下切り捨て)		10点	
総評価点				200点	

○評価基準について

1. 評価基準「I」

評価内容	評価得点	
	10点満点	20点満点
特に優れた提案内容となっている	10	20
優れた内容となっている	8	16
標準的な提案内容となっている	5	10
もう少し効果的な提案内容となるよう検討が必要と思われる	2	4
取り組み意欲が感じられない	0	0

高山市 I T 人材育成事業委託
プロポーザル審査表

提案者 _____

審査（採点）者 _____

審査項目	評価項目		評価基準	配点	
事業者	業務体制	業務の実施体制が充実しており、市との連絡体制等、人員配置が具体的に示されているか。	I	/10 点	
	業務実績	本事業の核となるスキルセット及びリスクリソグ教育、伴走型 I T 人材育成に関する実績の有無。		/10 点	
企画提案	提案内容の的確性	提案内容が仕様書を的確に踏まえ、業務目的、条件、内容を理解した提案書となっているか。	I	/20 点	
	業務工程	業務スケジュールが明確なものであり、実現可能な提案となっているか。	I	/10 点	
	受講者の選考	受講者の選考基準が適切かつ明確となっているか。	I	/10 点	
	研修の実施		研究内容は開発エンジニアやプログラマーに必要な基礎研修、専門研修を示した提案となっているか。	I	/20 点
			ウェブサイトの構築やチームビルディング等の実践的な研修を示した提案となっているか。		/20 点
			事業者による一方的な教育ではなく、受講生に寄り添ったハンズオン型の提案となっているか。		/20 点
			定期的に習熟度の確認や個別相談への対応等、スキル定着につながる提案になっているか。		/20 点
			受講生が高校生活と I T 人材育成研修の両立（離脱防止）ができる提案となっているか。		/20 点
	キックオフセミナーの実施	高校生が I T 人材を目指す機運を醸成、保護者等が I T 人材の重要性の理解を深めるため、工夫がされた提案となっているのか。	I	/10 点	
研修報告会の実施	高校生や保護者、市内企業の経営者等が I T 人材の重要性について理解を深めるとともに、市内企業の D X の促進に寄与する、工夫された報告会の提案となっているか。	I	/10 点		
独自提案	独自の工夫や特徴が盛り込まれ、本事業の効果をより発揮できる提案となっているか。	I	/10 点		
見積金額	見積金額	(最低見積金額/見積金額) × 配点 (小数点以下切り捨て)		/10 点	
合計（総評価点）				/200 点	